

**「令和元年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」
表彰者の決定について**

令和元年 10 月 4 日
一般財団法人地域総合整備財団
〈ふるさと財団〉

地域総合整備財団（ふるさと財団）では、平成 14 年度から『ふるさと企業大賞（総務大臣賞）』の表彰を行っています。この表彰は、地域振興に資する事業を展開する民間事業者を顕彰し、その活動を全国に広く周知することにより、地域の振興、地域経済の活性化と魅力あるふるさとづくりの推進に資することを目的としています。

このたび、令和元年度の受賞者として 8 事業者が決定されましたので、お知らせします（別紙 1 及び 2 のとおり）。

授与対象者は、ふるさと融資を利用した民間事業者のうち、融資の対象事業が、

- ① 地域経済及び雇用に特に貢献していると認められること
- ② 地域のイメージアップに特に貢献していると認められること
- ③ その他魅力あるふるさとづくりに特に貢献していると認められること

のいずれかに該当するものであり、東日本大震災などの大規模災害からの復興にあたり重要な役割を果たし、地域経済の再生および雇用の維持・拡大に特に貢献していると認められる事業者においては、特別賞を授与します。

受賞者は、都道府県、政令指定都市及び市町村から推薦のあった中から有識者からなる審査委員会（委員長：（株）野村総合研究所顧問 増田寛也氏）の審議を経て選考されたものです（委員名簿は別紙 3 のとおり）。

なお、表彰式は次のとおり開催します。

日 時： 令和元年 10 月 23 日（水）14：00～14：40
場 所： 第一ホテル東京「ラ・ローズの間」
東京都港区新橋 1-2-6

※当日取材を希望される方は、10月16日（水）15：00までに以下へご連絡下さい。

【お問い合わせ先】 一般財団法人地域総合整備財団 〈ふるさと財団〉
融資部企画調整課 山田、門井

TEL：03-3263-5586

FAX：03-3263-5732

令和元年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）受賞者一覧

事業者名	事業名	推薦団体	貸付団体	備考
オシキリ食品 株式会社	豆腐工場建設事業	北海道	江別市	
株式会社 津軽バイオマスエナジー	木質バイオマス発電事業	青森県	平川市	
医療法人社団 慈泉会	老人保健施設建設事業	福島県	白河市	特別賞
協同組合 兵庫木材センター	木材加工センター建設事業	兵庫県	宍粟市	
トーフレ 株式会社	金属他加工業・新工場建設事業	山口県	萩市	
ばいこう堂 株式会社	菓子製造工場整備事業	香川県	東かがわ市	
株式会社 日進開発	ホテル建設事業	長崎県	島原市	
社会福祉法人 野の花会	老人保健施設建設事業	鹿児島県	南さつま市	

以上 8事業者

令和元年度 ふるさと企業大賞（総務大臣賞） 受賞者概要

事業者名 (事業名)	貸付団体名	事業概要	受賞のポイント
オシキリ食品 株式会社 (豆腐工場建設事業)	北海道 江別市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和28年設立。豆腐の道内最大手製造会社。納豆、油揚げ、こんにゃく、もやし等も手掛け、全国納豆鑑評会や全国豆腐品評会で多数の賞を受賞するなど業界内から高い評価を獲得。 ○ 平成26年度にふるさと融資を活用し、豆腐製造工場を建設。生産能力及び配送効率が向上。 ○ 北海道産の原材料を使用し、地産地消にこだわった製品を数多く開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新工場建設により、主力製品である豆腐の生産能力と配送効率が向上し、売上高も伸びたことで、地域経済に大きく寄与。また地元雇用約7割と、安定的な雇用に貢献。 ○ 北海道産にこだわった製品を多く製造することで、北海道の地域資源に新たな付加価値を生み出している。 ○ 当社の製品は、道内多くの学校給食の材料として使用されており、子どもたちの健やかな発達と食育に貢献。
株式会社 津軽バイオマスエナジー (木質バイオマス発電事業)	青森県 平川市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成24年に平川市・林業者等50団体が参加して「津軽新エネルギー事業研究会」を立ち上げ、バイオマス発電等について検討を開始。平成25年に同社を設立。 ○ 平成25～27年度にふるさと融資を活用し、木質バイオマス発電施設を整備。平成27年12月より稼働。 ○ 森林管理で発生する間伐材や、りんごの栽培において発生する剪定枝等の地域資源を利用したバイオマス発電事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 間伐材やりんご剪定枝等を木質チップに加工、ボイラーで燃焼し、蒸気でタービンを回して発電。電力は地元公共施設等に供給するなど、エネルギーの地産地消を実現。 ○ 同社に加え、林業事業者などのバイオマス発電に関わる従事者は70名を超え、そのうち平川市民が6割を占めるなど、地元雇用に貢献。 ○ 発電時の排熱を利用して栽培したミニトマトは高評価で農産物のイメージアップに貢献。「平川市バイオマス産業都市構想」における「農業促進～冬の農業展開プロジェクト～」の一翼を担う。

<p>医療法人社団 慈泉会 (老人保健施設建設事業)</p>	<p>福島県 白河市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和 56 年の設立以来、精神科・心療内科等の分野において、福島県南地域の中核医療を担う医療法人。現在は IT 技術により東京・福島の地域間格差の是正に取り組んでいる。 ○ 平成 11 年度にふるさと融資を活用し、介護老人保健施設「ひもろぎの園」を建設。施設の専門職員数は、福島県南トップであり、入所者の在宅復帰率も高い水準を保つ。 ○ 施設において福島県認知症介護職員指導者の積極的な養成・配置を行い、母体である精神科クリニックの外来診療と合わせて、認知症患者に対して幅広い対応が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災で被害を受けた白河市民や原発事故で避難を余儀なくされた要介護者の受入れを積極的に実施。 ○ 「福島県仮設住宅等被災高齢者等生活支援のための相談支援専門職チーム派遣事業」に参加。仮設住宅地域の福祉機能を支援。 ○ 震災後も県内で 100 名以上の雇用を維持し、法人全体の 4 割を白河市内の職員が占めるなど、地域の安定雇用に寄与。また、多数の新規雇用も継続的に実施。
<p>協同組合 兵庫木材センター (木材加工センター建設事業)</p>	<p>兵庫県 宍粟市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産、製造、販売の各事業者等から構成される協同組合であり、原木生産から、製品製造、供給まで一貫体制で取り組むことを目的として平成 20 年に設立。 ○ 平成 22 年度にふるさと融資を活用し、本社工場を建設。高速製材機など最新の機械を導入し、高い生産性を実現。 ○ 全ての原木を無駄なく活用し、品質、価格、供給力で外材に対抗できる県産木材供給システムを確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同センター設立により、新たに 38 人を地元雇用。兵庫県立森林大学校（専修学校）の卒業生を新規雇用するなど、若者の地元定着に貢献。 ○ 伐採、植栽、保育の林業生産サイクルを円滑に循環させ、持続可能な資源循環型林業を構築することで、森林所有者に利益を還元し、健全な森林の育成につなげている。 ○ 「森と共に生きるまち宍粟」を掲げる当市にとって、基幹産業である林業の代表的な施設であり、林業再生の重要な施設として位置づけ。

<p>トーフレ 株式会社 (金属他加工業・新工場建設事業)</p>	<p>山口県 萩市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和 34 年創業のフレキシブルチューブ総合メーカー。フレキシブルチューブの国内シェアは15%で業界2位。 ○ 平成 26 年度にふるさと融資を活用し、国内工場の機能を集約したマザー工場を萩市に建設。「萩から世界へ」というキャッチフレーズの下、世界で通用する製品の生産を目標に操業している。 ○ 「検証型企业活動」をスローガンに掲げ、多種多様な検証設備を設置。出荷前の検査だけでなく、故障後の原因解明を細部まで実施しており、原因が使用環境にあった場合はその改善まで提案可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 萩工場建設により、UJI ターンを含めた100名以上の雇用を創出。また、製品の売上による経済効果、税収増加も多大。 ○ 運営開始後5年間で約100回もの工場見学を実施し、市内への人の流れを創出。また、学生の社会教育にも貢献。 ○ 市内の祭りに協賛するだけでなく、自ら出店を行い、東日本大震災被災者支援への取り組みとして宮城県石巻市から仕入れた商品を販売。
<p>ばいこう堂 株式会社 (菓子製造工場整備事業)</p>	<p>香川県 東かがわ市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和 25 年に個人創業して以来、特産品である和三盆糖を、昔ながらの伝統的な手法で製糖。また和三盆糖を用いた和菓子の製造・販売も行う。 ○ 平成 26 年度にふるさと融資を活用し、老朽化した製菓工場を新築。最新衛生設備や見学者通路を完備。 ○ 当社の商品は、市が実施するイベントでの頒布品や、ふるさと納税の返礼品として活用されるなど、市の魅力発信に大きく寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原料であるサトウキビの生産農家の高齢化が進む中、生産組合を作り、サトウキビの維持・拡大にも取り組み、地場産の原料確保に努めている。 ○ 地域内で原料栽培から加工、製造、販売までを一体的に行い、付加価値を生み出すことで、6次産業化を実現。 ○ 当該事業所の従業員の約8割は市内雇用であり、地域雇用に寄与。また、見学者の受入など、地場産業に関心を持つ機会を創出することで、地域への愛着形成とふるさとづくりに貢献。

<p>株式会社 日進開発 (ホテル建設事業)</p>	<p>長崎県 島原市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホテル事業を始め、介護福祉・医療・物販等の多岐にわたる事業を展開。親会社川田建設と共に「日進グループ」を形成。 ○ 47年続いた「島原観光ホテル小涌園」が平成23年に閉業。その跡地に平成24年にふるさと融資を活用して「ホテルシーサイド島原」を建設。 ○ 有数の高濃度炭酸泉、十分な収容力を備えた客室、海を望むチャペルと宴会場(400名)、芝生の中庭でのガーデンウェディングも可能なフルスペックのリゾートホテルを運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホテル事業及び介護福祉事業等を含めた全従業員の99%が島原・南島原・雲仙の島原半島3市の出身で、地域雇用に貢献。 ○ 年間額約5億円の仕入れは原則地元からの調達を徹底するなど、地域経済の活性化に寄与。 ○ スポーツ・イベント誘致に積極的に協力するなど、島原の地域イメージの向上や観光振興にも貢献。
<p>社会福祉法人 野の花会 (老人保健施設建設事業)</p>	<p>鹿児島県 南さつま市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和62年設立の社会福祉法人。南さつま市内において、介護老人保健施設、特別養護老人ホームなど6か所(市外含め8か所)の施設を展開。 ○ 平成5年度にふるさと融資を活用し、介護老人保健施設「ラポール吉井」を建設。「福祉に文化を」を理念とし、法人設立以来「抑制・拘束ゼロ」の介護を実施。 ○ 科学的根拠に基づく質の高いケアの提供を目指し、介護テクノロジーを積極的に導入。介護職員の負担軽減にもつながり、離職者数の減少に成功。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年50人以上の新規雇用を行っているほか、「ラポール吉井」では南さつま市の職員が7割を占めるなど地域の雇用に大きく貢献。 ○ 地域住民に向けて、「貯筋運動」や「リハビリ教室」など、介護予防等の啓発活動を無償で実施。 ○ 市内の祭りに参加するだけでなく、公園や施設内において夏祭り等を開催するなど地域行事に積極的に関わっている。

ふるさと企業大賞 審査委員名簿

増田寛也氏	株式会社野村総合研究所顧問
井上繁氏	元 常磐大学大学院教授
栢森哲也氏	元 株式会社時事通信社取締役
沼尾波子氏	東洋大学国際学部国際地域学科教授
松永忠徳氏	株式会社みそ半代表取締役会長
マリ クリスティーヌ氏	異文化コミュニケーター／東京女子大学教授
坂越健一氏	総務省自治財政局地方債課長
木内喜美男氏	一般財団法人地域総合整備財団専務理事